

材料なしの保育案

國內の物資は凡て戦力増強の爲に集中せられねばならない現在、幼稚園の保育材料も従來のやうなわけにいかないのは當然過ぎる程當然のことで、吾保母もこの點大いに考へなければならぬところである、そこでこの度「資材なしの保育案」といふものを伺つたところ、次の三玉稿を得た。何かにつけて御多忙なところを、本誌の爲御快諾下さつた淨謙、作田の二先生に御厚禮を申上げると同時に、この主旨の試みを實行せられておいでの幼稚園から、どし／＼御投稿いたゞき度く合せてこゝに御願する次第である。

戦時保育の一特長

(編輯部)

保育材料の足りないことは戦時幼稚園の免れ難い事である。多い少ないをいへば多い方がいゝにきまつてゐる。十分と不足とをくらべれば不足は不足に相違ない。しか

しその缺乏も不足も、ほかの理由からではない。戦時下一言半句の不服も嚴禁である。その上、足りなければ足りないだけに、

保育者の工夫の力が出、工夫のし甲斐もあるのである。何ごにも一ぱいに力を用ゐてゐるのが戦時である。材料の乏しさを工夫の豊かさで補つて餘りあらしめるのが、それこそ戦時保育の一特長でなければならぬ。決して戦時保育の短所たらしめてはならない。

但このために大きな努力を要するのは素よりである。諸方面の上に行はれてゐるこの點の努力に對して深く敬意を表する。

(倉橋生)

決戦下保育の試み三つ

奈良女高師附屬幼稚園

淨謙 子サコ

念：大東亞戦争は第三年目に入った。南に北に、今此の瞬間も暴虐米英撃滅の熾烈

なる戦ひを續けて居られる皇軍に應へて、我々もあらゆる困苦缺乏に堪へ、この戦ひを勝ち抜かねばならぬ。この意義深い、然しながら幾多の障害をひかへた戦を戦ひ抜き、明るい大東亞の黎明を築き上げる日まで、一億の國民が心ひとつに暮して行かねばならぬ時、大切な御國の子等をあづかる我々の保育も、顧みて遺憾の點はないか、新しく検討し直さねばならぬと思ふ。

子供達、これは皆御國の子供たちである。かけがへのない尊いひとりで、である。この子供達だけは、どんなことがあつても、さうかして健かに、強く、正しく、明るく、伸ばしてやりたいものである。が、反抗にいよいよ逸る敵米英は、その量をとらんで、厳しい我が備へをも突破して、内地を襲ふことが無いとも限らない。又、長期の空襲態勢に入らねばならぬ時が来ないとも斷言することは出来ない。然しながら、斯る時にも我々は、動ぜず、あわてず、一刻たりとも、大切な御國の子供の保育を忘れてはならぬ。非常の時の爲の、臨機の保育を、常々、否、今直ぐにも考へて用意